

平成 27 年度新潟県支部総会の開催報告

平成 27 年 6 月 27(土)、新潟市のANAクラウンプラザホテル新潟で、新潟県支部定例総会を開催しました。当日は会員 35 名の出席があり、大学から来賓として、今年から麻布大学附属高等学校の校長に就任された高木敬彦先生のご臨席をいただきました。

総会に先立ち、故椿洋先生(S38 卒)、早川秀男先生(S24 卒)のご冥福を祈り黙禱を献げました。

総会は、岡澤武夫会長(S35 卒)の挨拶に始まり、会長を議長として議案が審議され、平成 26 年度事業報告及び収支決算並びに平成 27 年度事業計画(案)及び収支予算(案)は、いずれも原案どおり承認されました。今年は、中部ブロック会議を新潟で担当することから、その計画も審議されました。

総会の後、高木先生から「麻布大学の学生の就職について」と題して講演がありました。はじめに大学が新しく変貌していく状況を紹介されました。その後、長年学長補佐として学生の就職支援を担当された経験から、学生の就職について説明いただきました。私が気になるのは、獣医学科の学生の公務員志向です。H25 年卒は 18.1%、H26 年卒は 21.6%と上昇したので、期待していましたが、H27 年卒は 13.9%とまた元にもどり、ちょっと残念でした。やはり小動物志向強いです。

例年は、この後懇親会にうつるのですが、今年は会員のレポートとして、佐渡支部の葉梨輝夫先生(S45 年卒)から「佐渡のトキ事情」をお話しいただきました。トキふれあいプラザ(http://www.visitsado.com/00sp/1301/toki_plaza/bro.pdf)でトキの管理を担当しており、間近でみるトキの生態を詳しく説明してくださいました。驚いたのは、放鳥されたトキは稲の苗を踏むので、多くなればまるで害鳥だということです。トキの羽の実物も見せていただきました。薄いピンク色の羽はやはりきれいです。飛んだ時の姿が美しいので、ぜひ野生のトキを見に来て欲しいとのことでした。

懇親会は、小松原先生(S24 卒)の乾杯で始まり、参加会員の自己紹介と近況報告、酔いが回れば「寮歌」、「記念祭の歌」そして、毎年恒例の早福昌司先生(S34 卒)の数え歌で健在です。

新潟県支部は総会に併せて毎年「新潟県同窓会報」を発行しています。今回で第 44 号となりました。特に、壘先生(S52 卒)から投稿いただいた「第二の人生真最中」は好評でした。なんと、退職後に、壘先生は小型のバックホー(油圧ショベル)を購入し、荒地を切り開いているそうです。会報への投稿として、「一枚の写真から」というテーマで原稿を募集しています。思い出の一枚が必ずあると思いますので、会員の皆様からの投稿をお待ちしています。

事務局 田村 務(S58 卒)

